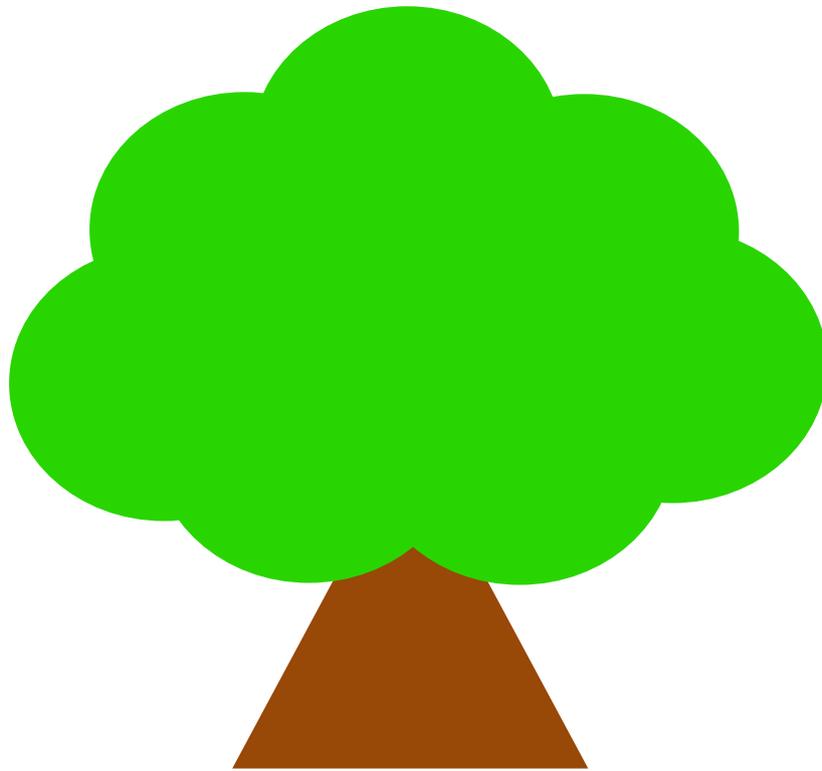


ブックリスト

# 本で知ろう！ ハンセン病

<小中学生~>



東村山市立図書館  
協力：国立ハンセン病資料館

<第4次東村山市子ども読書活動推進計画事業・東村山市「いのちの教育」推進プラン関連事業>

令和6年(2024年)1月改訂

## みなさんへ

このブックリストは、ハンセン病<sup>びょう</sup>について書<sup>か</sup>かれている本<sup>ほん</sup>を紹介<sup>しょうかい</sup>しています。本<sup>ほん</sup>を通<sup>とお</sup>してハンセン病<sup>びょう</sup>のことを知り、「人権<sup>じんけん</sup>」や「いのちの大切<sup>たいせつ</sup>さ」について考<sup>かんが</sup>えるきっかけになることを願<sup>ねが</sup>ってつくりました。ぜひ、読<sup>よ</sup>んでみてください。

- ♣ ひがしむらやましあおばちょうには、ハンセン病療養者<sup>びょうりようしや</sup>のための施設<sup>しせつ</sup>「国立療養所多磨全生園<sup>こくりつりょうじょうじょたまぜんしやうえん</sup>」と「国立ハンセン病資料館<sup>こくりつしりょうかん</sup>」があります。本<sup>ほん</sup>を通<sup>とお</sup>して全生園<sup>ぜんしやうえん</sup>のことやハンセン病<sup>びょう</sup>のことを知り、「いのちの大切<sup>たいせつ</sup>さ」を考<sup>かんが</sup>えるきっかけになることを願<sup>ねが</sup>って、このブックリストをつくりました。
- ♣ ブックリストの作成<sup>さくせい</sup>にあたっては、国立ハンセン病資料館<sup>こくりつしりょうかん</sup>にご協<sup>きょうりょく</sup>力<sup>りき</sup>いただきました。ハンセン病資料館ホームページ「キッズコーナー もっと知りたい ～参考<sup>さんこう</sup>になる本<sup>ほん</sup>を調<sup>しら</sup>べる～」から引用<sup>いんよう</sup>させていただいた本<sup>ほん</sup>には「■ハンセン病資料館ホームページより」という言葉<sup>ことば</sup>を添<sup>そ</sup>えています。その他の本<sup>ほん</sup>は市立図書館<sup>しりつとしよかん</sup>が紹介文<sup>しょうかいぶん</sup>を作成<sup>さくせい</sup>しました。
- ♣ この度<sup>たび</sup>の改訂<sup>かいてい</sup>では、新<sup>あら</sup>たに23冊<sup>ついで</sup>の本<sup>ほん</sup>を追加<sup>ついか</sup>しました。
- ♣ 紹介<sup>しょうかい</sup>した本<sup>ほん</sup>は、市立図書館<sup>しりつとしよかん</sup>で借<sup>か</sup>りられます。
- ♣ 表<sup>ひょう</sup>の右側<sup>みぎがわ</sup>には、ジャンルと市立図書館<sup>しりつとしよかん</sup>のラベルの記号<sup>きごう</sup>を記<sup>しる</sup>してあります。
- ♣ 中央図書館<sup>ちゅうおうとしよかん</sup>・秋津図書館<sup>あきつとしよかん</sup>には、「ハンセン病を知る本<sup>ほん</sup>」コーナーがあります。
- ♣ 『多磨全生園とハンセン病を知る ブックリストと資料<sup>しりょう</sup>』（中学生～大人向け）も発行<sup>はっこう</sup>しています。あわせてご利用<sup>りよう</sup>ください。
- ♣ 市立小中学校図書館<sup>しりつしょうちゅうがっこうとしよかん</sup>には「いのちとこころの本<sup>ほん</sup>」コーナーがあり、ハンセン病関連<sup>かんれん</sup>の本<sup>ほん</sup>も置<sup>お</sup>いてあります。平成17年4月、多磨全生園<sup>たまぜんしやうえん</sup>の平沢保治<sup>ひらさわやすじ</sup>さんが、ハンセン病患者<sup>かんじや</sup>への偏見<sup>へんけん</sup>や差別<sup>さべつ</sup>解消<sup>かいしょう</sup>のための長年<sup>ながねん</sup>の活動<sup>かつどう</sup>を評価<sup>ひやうか</sup>され、第39回吉川英治文化賞<sup>よしかわえいじぶんかしやう</sup>を受賞<sup>じゅしょう</sup>されました。その賞金<sup>しょうきん</sup>を「人権教育<sup>じんけんきやういく</sup>のために」と東村山市<sup>とうむらやまし</sup>に寄付<sup>きふ</sup>してくださったことをきっかけに、設置<sup>せつち</sup>したものです。

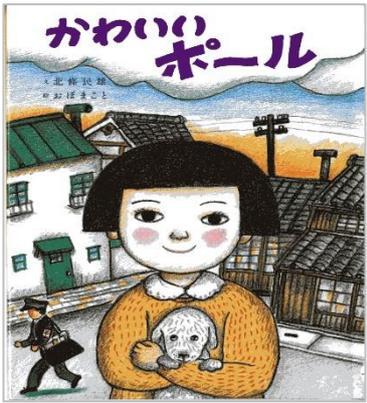
# 目次

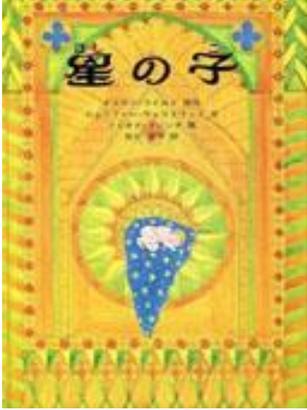
<small>しょうかい</small> <small>ほんいちらん</small> <small>しよめい</small> <small>じゆん</small> 紹介した本一覧(書名のあいうえお順) .....	4
<small>えほん</small> 絵本 .....	6
<small>ものがたり</small> 物語 .....	7
<small>てんき</small> 伝記 .....	9
<small>いがく</small> 医学 .....	12
<small>しゃかい</small> 社会 .....	15
<small>しゃしんしゆう</small> 写真集 .....	18
<small>さっし</small> <small>どう</small> 冊子・パンフレット等 .....	18

しょうかい   ほんいちらん   しよめい   じゆん  
紹介した本一覧(書名のあいうえお順)

	書名	ジャンル	ページ
1	あん	ものがたり 物語	7
2	いのちの森に暮らす   ハンセン病療養所   多磨全生園のいま	しゃしんしゅう 写真集	18
3	いのちの森を守る   ハンセン病の差別とたたかった平沢保治	でんき 伝記	9
4	「医療・保健衛生」につくした日本人   めざせ! 21世紀の国際人⑤	伝記	9
5	いろいろな人の人権を考える   わたしの人権みんなの人権④	社会	15
6	ウイルス・感染症と「新型コロナ」後のわたしたちの生活① 人類の歴史から考える!	医学	12
7	おもいででできた土地   ハンセン病療養所   多磨全生園の記憶・暮らし・望みをめぐる	医学	12
8	カミングアウト	物語	8
9	かみやみえこ   神谷美恵子   ハンセン病と歩んだ命の道程	伝記	9
10	かわいいポール	絵本	6
11	感染症と医学の歴史   知ろう! 防ごう! インフルエンザ③	医学	12
12	感染症と人類の歴史①   移動と広がり	医学	13
13	キミは知っているかい? ハンセン病のこと。	冊子・パン フレット等	18
14	きみ江さん   ハンセン病を生きて	伝記	10
15	心うたれるほんとうにあった話   4年生	伝記	10
16	子どものニュースウイークリー   2007年版	社会	15
17	子どものための感染症予防BOOK   パンデミックを生きぬくための101の知識	医学	13
18	この海を越えれば、わたしは	物語	8
19	さいきん   細菌ラボ   感染症とたたかう研究所	医学	13
20	差別ってなんだろう? ①   差別はいま、ここにある	社会	16
21	知ってふせごう! 身のまわりの感染症③   感染症の種類と歴史	医学	13
22	知ってほしい、ハンセン病のこと。希望ある明日へ向けて	冊子・パン フレット等	18
23	13歳から考えるハンセン病問題   差別のない社会をつくる	医学	14

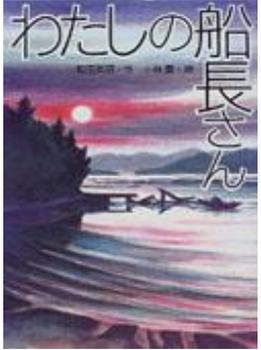
24	知らなかったあなたへ ハンセン病 <sup>そしやう</sup> 訴訟までの長い旅	社会	16
25	人類 <sup>じんるい</sup> の歴史は疫病 <sup>えきびやう</sup> との闘 <sup>たたか</sup> いの歴史 シリーズ疫病 <sup>てっていけんきやう</sup> の徹底研究①	医学	14
26	人生を切りひらいた女性たち① 医療 <sup>いりやう</sup> ・科学編 なりたい自分になろう！	伝記	10
27	すみれ	絵本	6
28	正しく学ぼう！ハンセン病 <sup>キューアンドエー</sup> Q & A	冊子・パンフレット等	18
29	種 <sup>たね</sup> をまこう「人権 <sup>じんけん</sup> って何だろう」いっしょに読んで考えよう	冊子・パンフレット等	18
30	楽しく調べる東京の社会	社会	16
31	多磨 <sup>たま</sup> 全生園 <sup>ぜんしやうえん</sup> と学校 ハンセン病と子どもたち	冊子・パンフレット等	18
32	地域 <sup>ちいき</sup> の発展 <sup>はってん</sup> につくした日本の近代化遺産 <sup>きんだいかいさんずかん</sup> 図鑑⑤ 九州 <sup>きゆうしゆう</sup> ・沖縄 <sup>おきなわ</sup> ・アジア	社会	16
33	ツルとタケシ 沖縄いくさ物語 <sup>みやこしまへん</sup> 宮古島編	絵本	6
34	中村哲 <sup>なかむらてつ</sup> 物語 大地をうるおし平和につくした医師	社会	17
35	のりこおかあさん	医学	14
36	ばらの心は海をわたった ハンセン病との長いたたかい	伝記	10
37	ハンセン病の療養所 <sup>りやうようじよ</sup> をつくったお坊さん <sup>ぼう</sup>	伝記	11
38	ハンセン病を生きて きみたちに伝えたいこと	社会	17
39	ハンセン病の向こう側 <sup>がわ</sup>	冊子・パンフレット等	18
40	ハンセン病問題 <sup>もんだい</sup> を知る 元患者 <sup>もとかんじや</sup> と家族の思い	冊子・パンフレット等	18
41	人として生きる権利 <sup>けんり</sup> の歴史 <sup>れきし</sup> 日本の歴史 明治維新 <sup>めいじいしん</sup> から現代 <sup>げんだい</sup> ④	社会	17
42	ぼくのおじさんは、ハンセン病 <sup>ひらさわやすし</sup> －平沢保治物語－	伝記	11
43	ぼくらの感染症 <sup>かんせんしやう</sup> サバイバル 病 <sup>やまい</sup> に立ち向かった日本人 <sup>ふんどうき</sup> の奮闘記	医学	15
44	星の子	絵本	7
45	リーかあさまのはなし ハンセン病の人たちと生きた草津のコンウォール・リー <sup>くさつ</sup>	絵本	7
46	琉球 <sup>りゅうきゆう</sup> ・沖縄史 <sup>おきなわし</sup> 新訂 ジュニア版 沖縄をよく知るための歴史教科書	社会	17
47	わすれられた命 <sup>いのち</sup> の詩 <sup>うた</sup> ハンセン病を生きて	伝記	11
48	わたしの船長 <sup>せんちやう</sup> さん	物語	8

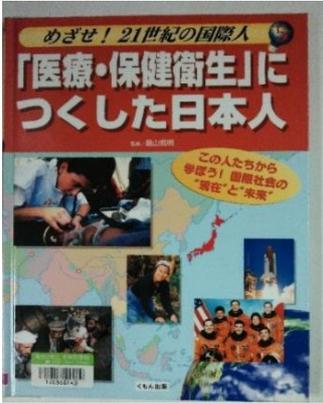
	<p><b>かわいいポール</b></p> <p>北條 民雄／文 おぼまこと／絵 1冊（ページ付なし）国立ハンセン病資料館 2016年</p> <p>ミコちゃんはポールという名前のかわいいこいぬを飼っています。ポールは、いぬごろしにつかまり、連れて行かれそうになったところをミコちゃんに助けられたのです。『いのちの初夜』の作者北條民雄が残した童話が絵本になりました。</p>	<p>絵本 (Eシロオホ)</p>
	<p><b>すみれ</b></p> <p>北條 民雄／文 山崎 克己／絵 トムズボックス／編 36ページ 国立ハンセン病資料館 2015年</p> <p>生誕100年の北條民雄が残した2編の童話のうちの1点である「すみれ」は山奥でわびしく暮らす1人の老人と庭に咲く「すみれ」とのきめこまやかなふれあいを描いた人情味あふれる作品となっている。</p> <p>■ハンセン病資料館ホームページより</p>	<p>絵本 (Eシロヤマ)</p>
	<p><b>ツルとタケシ 沖縄いくさ物語 宮古島編</b></p> <p>儀間 比呂志／作・絵 37ページ 清風堂書店 2005年</p> <p>幼くしてハンセン病を得た妹。はげしい戦禍の中をけなげに支える兄。宮古南静園で展開するハンセン病患者たちの国による隔離と根絶の悪法とのたたかい、明日を生きる源として命の再生をみようとした、哀しくもいとおしい物語。 ■ハンセン病資料館ホームページより</p>	<p>絵本 (Eシロキマ)</p>

	<h3>星の子</h3> <p>オスカー・ワイルド／原作 ジェニファー・ウェストウッド／文 フィオナ・フレンチ／画 矢川 澄子／訳 ほるぷ出版 1981年</p> <p>流れ星に<sup>みちび</sup>導かれ、木こりに<sup>ひろ</sup>拾われ育てられた星の子。星の子はやがて美しく成長しますが、その心は<sup>ざんにん</sup>残忍でわがままでした。ある日、自分の母だという女があらわれますが、星の子は<sup>じやくけん</sup>邪見にして追い返します。悔やんだ星の子は母に<sup>あやま</sup>謝るべくさまよい歩いた。</p> <p>■ハンセン病資料館ホームページより</p>	<p>絵本 (Eシロフレ)</p>
	<h3>リーかあさまのはなし</h3> <p>ハンセン病の人たちと生きた<sup>くさつ</sup>草津のコンウォール・リー</p> <p>中村 茂／文 小林 豊／絵 斎藤 千代／構成 32ページ ポプラ社 2013年</p> <p>今から約80年前、群馬県草津で、ハンセン病に苦しむ人達に寄り添い、<sup>そ</sup>尽くし、<sup>つ</sup>みなから「かあさま」と呼ばれて慕われたイギリス人<sup>せんきょうし</sup>宣教師、コンウォール・リーの活動と半生を描いた、心ゆさぶる感動の絵本。</p> <p>■ハンセン病資料館ホームページより</p>	<p>絵本 (Eシロコハ)</p>

ものがたり  
**物語**

	<h3>あん</h3> <p>ドリアン 助川／著 259ページ ポプラ社（ポプラ文庫）2015年</p> <p>どら焼きやの店長、<sup>せんたろう</sup>千太郎のところに<sup>ゆび</sup>指のまがったおばあさん、<sup>とくえ</sup>徳江が雇ってほしいとやってくる。徳江がつくる“あん”は、おどろくほどおいしかった。千太郎は、とまどいながらも徳江を雇うことにしたが・・・。</p> <p>東村山市が<sup>ぶたい</sup>舞台となり、2015年に映画化された。</p>	<p>物語 (ハイイロト)</p>
---	---	-----------------------

	<p><b>カミングアウト</b></p> <p>島田 和子／作 尾崎 曜子／絵 158 ページ 新日本出版社 2000 年</p> <p>ハンセン病をのりこえ、カミングアウト（実名公表）した回復者と少女との出会い。近所にある「国立療養所多磨全生園」について疑問を抱いた中学生の三奈が、ハンセン病について学んでいく過程を描く。</p> <p>■ハンセン病資料館ホームページより</p>	<p>物語 (ハイイロシ)</p>
	<p><b>この海を越えれば、わたしは</b></p> <p>ローレン・ウォーク／作 中井 はるの／訳 中井川 玲子／訳 381 ページ さ・え・ら書房 2019 年</p> <p>生まれてすぐに小舟で海に流され、流れ着いた小島で育てられた少女クロウ。島民はハンセン病患者の療養所があるペキニズ島から流されてきたことを疑い距離をおいていた。12 歳になったクロウは自分がどこから来たのか突き止めるため動き出す。</p>	<p>物語(ティーンズ93/ピンクウ)</p>
	<p><b>わたしの船長さん</b></p> <p>和田 英昭／作 小林 豊／絵 190 ページ 講談社 1998 年</p> <p>初夏の風がほおをなではじめた倉敷の街。悦子のトランペットも心地よい音色をかなでている。そんなある日、とつぜんおそって来た父の死。死の直前の父の謎の行動は、思いもよらない方向、ほんの六十歩でわたれるほど小さな橋へとつづいていた。</p> <p>■ハンセン病資料館ホームページより</p>	<p>物語 (ハイイロワ)</p>

	<p><b>いのちの森を守る</b> ハンセン病の差別とたたかった平沢保治</p> <p>木暮 正夫／著 高田 勲／絵 127 ページ 佼成出版社 2003 年</p> <p>ヒイラギのかきねに囲まれた「多磨全生園」。ハンセン病の回復者たちが今もくらしています。差別を乗り越え、生きる力となったのは、いったい何なのでしょう？一人の回復者を通して「人権」について考えます。</p> <p>■ハンセン病資料館ホームページより</p>	<p>伝記 (ムラサキ)</p>
	<p>「医療・保健衛生」につくした日本人 めざせ! 21世紀の国際人⑤</p> <p>畠山 哲明／監修 47 ページ くもん出版 2002 年</p> <p>世界で活躍する日本人の医師や獣医を紹介した本。28・29 ページに、パキスタン等でハンセン病の治療をした医師のことがのっています。また、30・31 ページの「ハンセン病について考えよう」の記事でハンセン病についてのミニ知識がわかります。</p>	<p>伝記 (ムラサキ)</p>
	<p>神谷美恵子 ハンセン病と歩んだ命の道程</p> <p>大谷 美和子／著 175 ページ くもん出版 2012 年</p> <p>自身を襲った病や、最愛の人を失うという深い苦しみと喪失を体験しながら、精神科医として、そしてよき友として、ハンセン病患者に寄りそい続けた神谷美恵子。人間の存在意識や「生きがい」を思索し続けた、神谷美恵子の心の軌跡をたどる。</p> <p>■ハンセン病資料館ホームページより</p>	<p>伝記 (ムラサキ)</p>

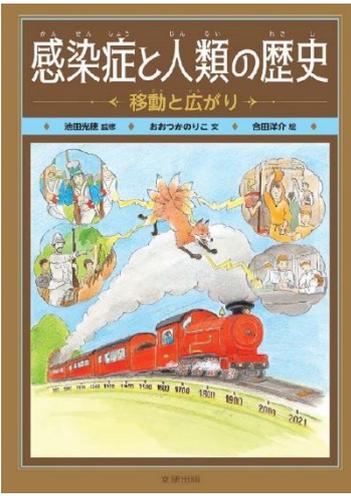
	<p><b>きみ江さん ハンセン病を生きて</b></p> <p>片野田 斉／著 205 ページ 偕成社 2015 年</p> <p>ハンセン病にかかったきみ江さんは、21才の時、家族と離れ、「もうこの家には二度と帰れない」と心に決めて、静岡から全生園にやってきた。社会で「ふつうの生活」をすることを夢に、いつも前向きにがんばってきたきみ江さん。作者は東村山出身の報道写真家、片野田さんです。</p>	<p>伝記 (ムラサキ)</p>
	<p><b>心うたれるほんとうにあった話 4年生</b></p> <p>川村 たかし／監修 142 ページ ポプラ社 2003 年</p> <p>いっしょうけんめい生きている小学生のみんなへ感動の読物のおくりもの。「愛」や「まごころ」の尊さを伝えるおはなしをまとめてあるドキュメンタリー。「宇宙飛行士毛利衛」ほかを収録。関係作品として「日本のナイチンゲール 井深八重」(野村一秋/著)が載っている。</p> <p>■ハンセン病資料館ホームページより</p>	<p>伝記 (ムラサキ)</p>
	<p><b>人生を切りひらいた女性たち①</b> 医療・科学編 なりたい自分になろう!</p> <p>池内 了／監修 48 ページ 教育画劇 2016 年</p> <p>22 歳の時にハンセン病の疑いで入院し、疑いが晴れた後も病院にとどまり、患者のために尽くした井深八重看護師や、19歳の時にハンセン病療養所を訪れたことがきっかけで、患者に寄りそう医師になると決意した神谷美恵子医師ら女性科学者の伝記です。</p>	<p>伝記 (ムラサキ)</p>
	<p><b>ばらの心は海をわたった</b> ハンセン病との長いたたかい</p> <p>岡本 文良／作 高田 三郎／絵 178 ページ PHP 研究所 1980 年</p> <p>明治時代、イギリスから、キリスト教の伝道師として来日したりデル女史。お花見に行った寺でハンセン病患者を見かけ、悲惨な様子に衝撃を受け、ハンセン病患者のための病院をつくろうと決心します。</p>	<p>伝記 (ムラサキ)</p>

	<p><b>ハンセン病<small>りょうようじょ</small>の療養所<small>ぼう</small>をつくったお坊さん</b>      トレヴァー・マーフィ／著 溝江 純／絵 87 ページ      ルック 2006 年</p> <p>100年も前にハンセン病の療養所をつくった、綱脇龍妙（つなわき りゅうみょう）というお坊さん。彼の生涯<small>しょうがい</small>と思想をテーマに博士号<small>はくしごう</small>を取得したイギリス人の著者<small>ちよしゃ</small>が、その勇気ある生き方を紹介する。</p> <p>■ハンセン病資料館ホームページより</p>	<p>伝記      （ムラサキ）</p>
	<p><b>ぼくのおじさんは、ハンセン病 -平沢保治物語-</b>      船橋 秀彦・平沢 保治／著 たむら ひろこ／絵      219 ページ 全国障害者問題研究会茨城支部出版      2002 年（2015 年刊の完結編もあり）</p> <p>保治おじさんが東村山の全生園<small>ぜんしょうえん</small>にいることを知ったぼくとおねえちゃん、夏休みに会いに行った。おじさんは「よくきてくれた」と喜んで、ハンセン病のことや今までの暮らし<small>くらし</small>について話してくれた。ハンセン病回復者<small>かいふくしゃ</small>、平沢保治さんをモデルにして書かれた物語。</p>	<p>伝記      （ムラサキ）</p>
	<p><b>わすれられた命<small>いのち</small>の詩<small>うた</small> ハンセン病を生きて</b>      筈 雄二／著 246 ページ ポプラ社 1997 年</p> <p>7 歳の時ハンセン病と診断<small>しんだん</small>され、療養所<small>りょうようじょ</small>に閉じ込められて成長した著者<small>ちよしゃ</small>が世間の偏見<small>せけん</small>と差別<small>へんけん</small>と闘<small>たたか</small>いながら生きぬいてきた半生の記録<small>はんせい</small>。</p> <p>■ハンセン病資料館ホームページより</p>	<p>伝記      （ムラサキ）</p>



いがく  
医学

	<p><b>ウイルス・感染症と「新型コロナウイルス」後のわたしたちの生活① 人類の歴史から考える!</b>  <small>じんるい</small>          稲葉 茂勝／著 山本 太郎／監修 こどもくらぶ／編集 31 ページ 新日本出版社 2020 年</p> <p>人類と感染症とのたたかいの歴史がまとめられています。ハンセン病は古代エジプトの記録に残っており「人類が認識した最初の感染症」とわれています。それは差別と隔離の歴史でもありました。</p>	<p>医学 (アオ49)</p>
	<p><b>おも 想いでできた土地</b>  <small>た まぜんしやうえん</small>  <b>ハンセン病療養所 多磨全生園の記憶・くらし・望みをめぐる ガイドブック</b>          国立ハンセン病資料館／編集 80 ページ 国立ハンセン病資料館 2021 年</p> <p>多磨全生園に残された史跡や、入所者にとって欠かせない医療・生活の場であった建物などが、写真とともに紹介されています。</p>	<p>医学 (アオ49)</p>
	<p><b>かんせんしやう いがく れきし 感染症と医学の歴史</b>  <small>ふせ</small>  <b>知ろう!防ごう!インフルエンザ③</b>          田代 真人／監修 岡田 晴恵／監修 39 ページ 岩崎書店 2009 年</p> <p>人類と感染症とのたたかいの歴史と、世界と日本の感染症の実情やその対策について書かれた本。9ページの「歴史の中のハンセン病」では、中世のヨーロッパでハンセン病が広がった原因や、その後の治療法についてまとめられています。</p>	<p>医学 (アオ49)</p>

	<p><b>感染症と人類の歴史① 移動と広がり</b></p> <p>おおつか のりこ／文 池田 光穂／監修 合田 洋介／絵 47ページ 文研出版 2021年</p> <p>古代から現代までに流行してきた様々な感染症を取り上げ、その原因となった歴史的な出来事や人間の活動について、妖怪九尾のキツネが、図表やイラストを交えて解説しています。12世紀のヨーロッパでは、十字軍の遠征をきっかけにハンセン病と天然痘が大流行しました。</p>	<p>医学 (アオ49)</p>
	<p><b>子どものための感染症予防BOOK</b></p> <p><b>パンデミックを生きぬくための101の知識</b></p> <p>夏 緑／著 ミノオカ リョウスケ／絵 135ページ 童心社 2021年</p> <p>感染症と免疫のしくみ、感染症の根絶に貢献した科学者、感染症を予防する方法、身のまわりの感染症などについて書かれた本。感染症の中でもハンセン病は、古い時代からあることがわかります。</p>	<p>医学 (アオ49)</p>
	<p><b>細菌ラボ 感染症とたたかう研究所</b></p> <p>リチャード・プラット／文 ジョン・ケリー／絵 竹内 薫／訳・監修 47ページ 小学館 2021年</p> <p>たくさんの人の命をうばう細菌やウイルスはいったいどういうものなのか、イラストや写真とともに解説しています。まだ医学が発達していない時代に、ハンセン病は必要以上におそれられていたというエピソードが載っています。</p>	<p>医学 (アオ49)</p>
	<p><b>知ってふせごう! 身のまわりの感染症③</b></p> <p><b>感染症の種類と歴史</b></p> <p>近藤 慎太郎／監修 47ページ 旬報社 2020年</p> <p>感染症にはどんな種類があって、人類の歴史とどのようにかかわってきたのか解説しています。多磨全生園に併設されている「国立ハンセン病資料館」の紹介文もあります。</p>	<p>医学 (アオ49)</p>

	<p><b>13歳から考えるハンセン病問題</b>  <b>差別のない社会をつくる</b>  江連恭弘・佐久間建／監修 141 ページ かがわ出版  2023 年</p> <p>ハンセン病患者や家族が受けた激しい差別についての  手記をはじめ、ハンセン病の歴史や療養所での生活、  子どもの患者の暮らしや現在の療養所のあり方等、ハ  ンセン病問題の全体像について、写真や解説とともに  まとめた本です。多磨全生園の記述もあります。</p>	<p>医  学（テ  ィー  ンズ  9  ／  498.6  ジ）</p>
	<p><b>人類の歴史は疫病との闘いの歴史</b>  <b>シリーズ疫病の徹底研究①</b>  こどもくらぶ／編集 31 ページ 講談社 2017 年</p> <p>人類をおびやかしてきた最大の敵、疫病の歴史につ  いて書かれた本。12・13 ページ「差別を受けたハン  セン病」の項に、「悪魔の病気」としておそれられ、  隔離された時代や、現代社会にまで続いていた差別の  ことがのっています。</p>	<p>医  学  （ア  オ  49  ）</p>
	<p><b>のりこおかあさん</b>  當摩 彰子／文 正木 志門／表紙絵 川崎 達也／ロ  ゴデザイン 井上 貴雅／題字 大森 直子／挿絵 當摩  理佐子／英訳 當摩 照夫／編集 33, 13 ページ 東村  山夢と希望プロジェクト 協賛：東村山市教育委員会 2021  年 英文併記</p> <p>のりこさんは昭和3 年秋田県生まれ。20歳の時にハン  セン病にかかり、家族と離れ、多磨全生園に入りました。  のりこさんの語りという形で、その一生が語られ  ます。市内小中学校の道徳の教材にもなりました。</p>	<p>医  学  （ア  オ  49  ）</p>



## ぼくらの感染症サバイバル

やまい 病に立ち向かった日本人の奮闘記 ふんどうき

香西 豊子／監修 191 ページ いろは出版 2021 年

古代から現代まで、日本人が感染症とどう向き合い、どう乗り越えてきたのか、マンガと解説文でわかりやすく教えてくれます。ハンセン病は「へんけんと無知により長く差別の対象となった病」として紹介されています。

医学  
(アオ49)



## 社会



## いろいろな人の人権を考える

わたしの人権みんなの人権④

荒牧 重人／監修 石井 小夜子／編著 46 ページ  
ポプラ社 2004 年

女性や高齢者、病気や障がいなど様々な立場の人の人権について考える本。22・23 ページ「公害や病気とのたたかいのなかで」の項に「へんけんや差別をなくすことが公害や病気とたたかう人びとののぞみ」としてハンセン病についての説明がコンパクトにまとめられています。

社会  
(アカ31)



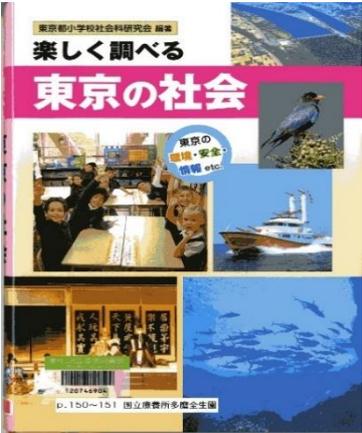
## 子どものニュースウィークリー 2007年版

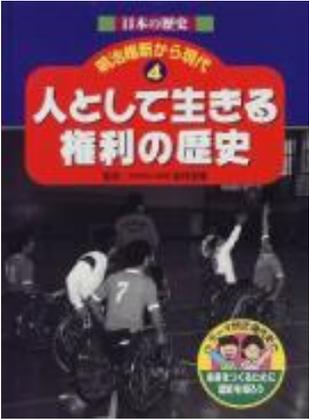
読売新聞社会部／編 190 ページ 中央公論新社  
2007 年

戦前、日本の植民地だった韓国・台湾につくられたハンセン病療養所の回復者が日本政府に「ハンセン病補償法」という法律にもとづいて補償金の支払いを訴えた裁判の判決が違って来た。判決後の日本政府の対応はどうだったか。(34 ページに「ハンセン病補償法、台湾・韓国で違う判決」の項目あり)

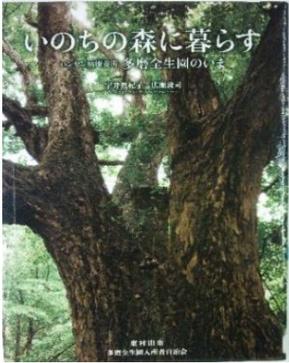
■ハンセン病資料館ホームページより

社会  
(アカ30)

	<p>差別<small>さべつ</small>ってなんだろう?① <b>差別はいま、ここにある</b>        好井裕明／監修 47ページ 新日本出版社        2023年</p> <p>差別とは何か、身近にひそむ差別の芽<small>め</small>にはどういったものがあるかを知り、それをふせぐにはどうしたらよいか考えるシリーズです。38・39ページで「過去のできごとから学ぶ②」「ハンセン病への差別」について触れています。</p>	<p>社会(アカ36)</p>
	<p><b>知らなかったあなたへ</b>        ハンセン病訴訟<small>そしょう</small>までの長い旅        研雄二／著 142ページ ポプラ社 2001年</p> <p>ハンセン病回復者として様々な差別や偏見<small>たたか</small>と闘いながら生き抜いた自らの半生をたどりながら“人間として生きる”ことの意味を鋭く問いかける。インタビューを通して生の声を届ける力作。        ■ハンセン病資料館ホームページより</p>	<p>社会(一般書498.6コ)</p>
	<p><b>楽しく調べる 東京の社会</b>        東京都小学校社会科研究会／編著 167ページ        日本標準 2007年</p> <p>東京の自然や文化などについての調べ学習用の本。150・151ページに、特集①「人権問題について考える」として、国立療養所多摩全生園<small>こくりつりょうようじょう たまぜんしやうえん</small>がのっています。全生園の基礎知識、ハンセン病のこと、昔のまちがった考え方などがまとめられています。*2007年当時の情報のため、「国立ハンセン病資料館」が旧名<small>きやうめい</small>で表示されています。</p>	<p>社会(アカ30)</p>
	<p><b>地域の発展につくした日本の近代化遺産</b>        図鑑⑤ 九州・沖縄・アジア        西戸山 学／著 55ページ 岩崎書店 2018年</p> <p>幕末から第二次世界大戦までの間に建設された日本の近代化遺産。イギリス人宣教師のリデル女史が設立した「旧熊本回春病院ハンセン病研究所<small>きんきやうしや</small>」のことが、マンガとともに紹介されています。</p>	<p>社会(アカ31)</p>

	<p>なかむらてつ <b>中村哲物語 大地をうるおし平和につくした医師</b></p> <p>松島 恵利子／著 179 ページ 汐文社 2022 年</p> <p>2019（令和1）年に凶弾に倒れた中村医師は、35 年もの長い間、戦争や干ばつに苦しむアフガニスタンとパキスタンで医療支援を行ってきました。パキスタンの病院では、ハンセン病の担当医に志願し、ひどい状態だった病院を少しでもよい環境にするために行動しました。</p>	<p>社会 (アカ33)</p>
	<p><b>ハンセン病を生きて きみたちに伝えたいこと</b></p> <p>伊波 敏男／著 220 ページ 岩波書店（岩波ジュニア新書）2007 年</p> <p>「差別や偏見は、真実を知らないことから生まれる」ハンセン病回復者として若者たちと交流を重ねる中で、著者は真実を知ることの大切さを語ります。14 歳で発病、学びたい一心で療養所を逃走、根強く残る偏見や差別に揺さぶられた日々。自らの体験を通してハンセン病問題とは何か、どう生きるかをともに考える一冊。 ■ハンセン病資料館ホームページより</p>	<p>社会 (ティーンズ9 / アオ49)</p>
	<p><b>人として生きる権利の歴史</b> 日本の歴史 明治維新から現代④</p> <p>坂井 俊樹／監修 福富 弘美／著 48 ページ ポプラ社 1999 年</p> <p>さまざまな理由で差別されてきた人達を中心にすえて、基本的人権のあり方の変遷をたどり、人権を抑圧する社会のしくみなどについても、歴史的にとりあげる。 ■ハンセン病資料館ホームページより</p>	<p>社会 (アカ31)</p>
	<p>りゅうきゅう おきなわし <b>琉球・沖縄史 新訂 ジュニア版 沖縄をよく知るための歴史教科書</b></p> <p>新城 俊昭／著 373 ページ 編集工房東洋企画 2018 年</p> <p>沖縄戦で多くの犠牲者が出た沖縄。「平和の礎」には犠牲者の名前が刻まれています。ハンセン病療養施設愛楽園の犠牲者の刻銘は、偏見のためなかなか進まず、全員の刻銘が完了したのは 2006 年でした。</p>	<p>社会 (ティーンズ8 / 219.9ア)</p>

しゃしんしゅう  
写真集

	<p><b>いのちの森に暮らす</b> <small>りょうようじょ たまぜんしやうえん</small> ハンセン病療養所 多磨全生園のいま</p> <p>三島 悟／編 宇井 眞紀子・広瀬 敦司／写真 松澤 政昭／デザイン 175 ページ 東村山市・多磨全生園入所者自治会 2015 年</p> <p>緑がいっぱいで自然豊かな全生園の様子と、そこにくらす人たちの思いが生き生きとした写真で伝わってきます。東村山に住むわたしたち一人ひとりが、この場所を「人権の森」として受けついでいくことの大切さを感じてください。</p>	<p>写真集 （一般書） 498.6 イ</p>
---	--	--------------------------------------

さっし  
冊子・パンフレット等

書 名	編集・発行	発行年
キミは知っているかい？ハンセン病のこと。	国立ハンセン病資料館	2022 年
知ってほしい、ハンセン病のこと。 <small>きぼう</small> 希望ある明日へ向けて	国立ハンセン病資料館	2022 年
正しく学ぼう！！ハンセン病 <small>キューアンドエー</small> Q & A	多磨全生園入所者自治会	2017 年
種をまこう 「人権って何だろう」いっしょに読んで考えよう	全国人権擁護委員連合会 ／編集 人権擁護協力会	2021 年
多磨全生園と学校 ハンセン病と子どもたち	東村山ふるさと歴史館	2022 年
ハンセン病の向こう側 <small>がわ</small>	厚生労働省	2017 年
ハンセン病問題を知る <small>もとかんじや</small> 元患者と家族の思い	法務省人権擁護局人権教育啓発推進センター	2021 年

ブックリスト **本で知ろう!ハンセン病** <小中学生〜>

平成28年(2016年)1月 発行

平成30年(2018年)1月 改訂

令和6年(2024年)1月 改訂

協力:国立ハンセン病資料館

編集・発行:東村山市立図書館

〒189-8501 東京都東村山市本町1-1-10

TEL 042-394-2900 FAX 042-394-4107

ホームページ <http://www.lib.city.higashimurayama.tokyo.jp/>